

サラダ壬生菜

(宇治交配) 京なじみ

生育旺盛、肉質やわらかでサラダに最適！

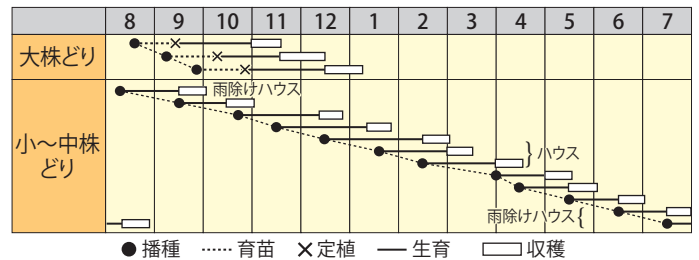
特 性

- ① 草姿は立性で、株張り・株揃いよく葉は鮮緑、葉軸細く純白でボリューム感のある豊産種です。
- ② 生育旺盛で周年栽培が可能な品種ですが、特に耐暑性に優れているので、夏期栽培にその特性を發揮します。
- ③ 葉肉が軟らかくピリッとした辛味のある風味が特長で、サラダ料理に最適です。又、従来のおひたしや煮物・漬物にも適した美味しい壬生菜です。



栽培のポイント！

- ① 作業の手間を省略するため、直播きで間引きなしの栽培を行います。
- ② 周年栽培の場合、ハウス等施設を利用し、冬期は被覆資材を用いて保温による生育促進を心がけ、夏期は特に換気に注意して遮光栽培を行います。
- ③ 年間5~6作の連作となるので、有機質の投入による土作りを心がけ、連作障害を回避します。
- ④ 大株どりの場合は本葉6~7枚の若苗を定植、保水性に富む土壌を選び、肥料切れさせないこと。



栽培管理

① 圃場の準備

肥料は元肥を中心にし、三要素各10kg/10aを基準とし、夏期は各6~8kg/10a、冬季には各12~13kg/10aを目安とします。立枯病など土壌病害予防のため、定期的に土壌消毒を行うことが望ましいです。

② 播種・育苗

うね幅120~150cmで条間8~10cmを基準とします。播種はシートテープを用いて直播きします。株間は7cm間隔で1粒まきし、間引きしません。播種後充分に灌水し、寒冷紗で被覆して一斉に発芽させます。

③ 収穫までの管理

早春のハウス栽培では抽苔しやすくなります。特に生育初期の低温は、花芽分化を促進させますので注意が必要です。春・秋の暖かい日はハウス内の換気を充分に行い軟弱徒長を防ぎます。

④ 収穫・出荷

草丈28cm位になれば順次収穫します。収穫後は急速に品質が低下しますので、速やかに子葉・枯葉・根部を除去し、調整・袋詰めを行います。この時できるだけ水洗いはしないようにします。

⑤ 病害虫防除

壬生菜は茎葉部を食しますので、病害虫防除は生育初期の予防的散布を基本とします。小~中株獲りの害虫防除には被覆資材を用いて葉散回数を少なくします。

主な病害虫

● ベと病、白斑病、白さび病、軟腐病、立枯病 ● コナガ、カブラハバチ、キスジノミハムシ、ヨトウムシ、アブラムシ